OpenText Recover

ビジネスを継続させるための障害復旧

利点

OpenText Recover は、最悪の事態が発生した場合でもデータを確実に回復し、ビジネスの継続性を確保します。

- 継続的なリアルタイムレプリケーションで常時稼働のデータ保護を実現
- リカバリ時間は分単位、リカバリポイントは数秒単位で測定され、生産性と収益の損失のリスクを軽減
- 独自のセカンダリ DR サイトの構築と管理にかかるコストをなくす
- ボタン操作によるフェールオーバーとフェールバックにより、クラウドとの間でワークロードを移行する際の複雑さを解消
- 非破壊式のセルフサービステストとフェールオーバーレポートにより、正常に機能していることを確認

OpenText™ Recover は、重要なシステムをクラウドに安全に複製し、必要なときに最新のコピーを利用できるようにすることで、予期しないダウンタイムのリスクを軽減します。中断のないセルフサービステスト、フェールオーバーレポート、プロフェッショナルサービスのサポートにより、組織はデータ保護戦略に自信を持つことができます。

障害復旧の課題

従来の障害復旧ソリューションはコストが高く複雑

ランサムウェア、自然災害、人的ミスなどにより重要なシステムがダウンすると、正常な運用が再開されるまで、企業は収益と生産性の損失を被ります。これまで最速のリカバリ方法は、セカンダリの物理サイトにコピーを複製することでした。しかし、ほとんどの企業にとって、冗長なハードウェア、データセンターのスペース、追加の IT リソースはコストがかかりすぎるため、現実的な選択肢ではありませんでした。

54% の中小企業がダウンタイムにより顧客または収益を失っています [1]

今日、組織は予期しない災害のリスクを抱えながら事業を行う代わりに、予算とビジネスニーズに合わせて DRaaS (サービスとしての障害復旧) を実装する選択肢があります。

サービスとしての障害復旧

シンプルで拡張可能、コスト効率の高いリカバリ

OpenText Recover は、プライマリ環境からクラウドに重要なシステムを安全に複製し、フェールオーバー時にいつでも最新のセカンダリコピーを利用できるようにして、ダウンタイムもコストも削減します。次の機能が含まれます。

- お客様の環境内のシステムを自動検出
- 異種の物理、仮想、クラウドベースのシステム間で複製
- 多層アプリケーションのオーケストレーションとフェールオーバー前後のスクリプト作成をサポート
- 帯域幅を最適化してネットワークへの影響を限定的に
- 組み込みの暗号化により、転送中と保存中の安全性を確保
- リアルタイムのバイトレベルレプリケーションによりリカバリポイント目標を最小化
- 過去のスナップショットを使用する複数のリカバリポイントで、悪質な攻撃者やランサムウェアからリカバリ

1 TechRadar、『Survey highlights the heavy costs of business downtime』、2020 年 6 月 15 日

OpenText がその分野に狙いを定めて精通しているのに、なぜわざわざ作り直す必要があるのでしょうか？ アップタイムが優れていて、フェールオーバーの専門家であり、データのバックアップが専門です。この分野では長年の実績があります。」

- Lake Country Co-Op IT マネージャ、Chris MacAulay 氏

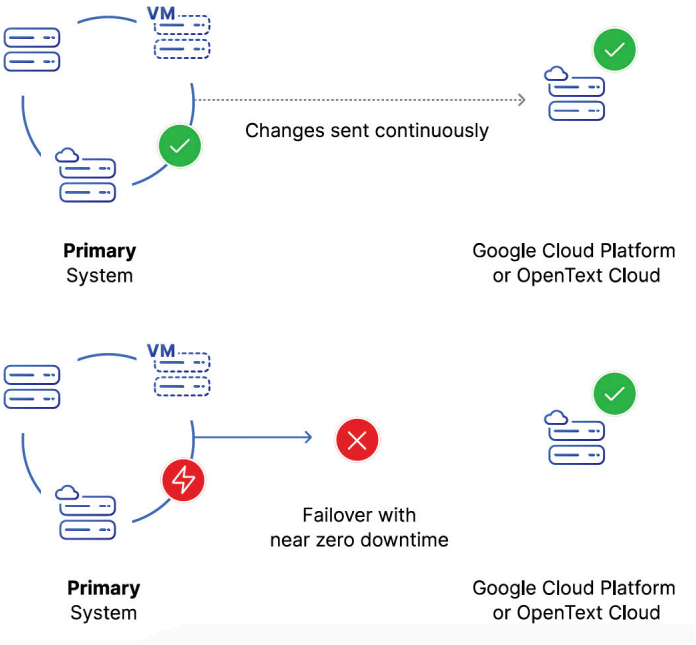
サービスとしての障害復旧

仕組み

OpenText Recover は、プライマリ環境から Google Cloud Platform や OpenText クラウドに重要なシステムを安全に複製し、フェールオーバー時にいつでも最新のセカンダリコピーを利用できるようにして、ダウンタイムもコストも削減します。セカンダリデータセンターが不要です。OpenText がすべてのインフラストラクチャとメンテナンスを処理します。

Web ベースのユーザーインターフェイスにより、管理者は合理化された管理機能を使用して、ジョブステータスを表示および編集し、保護パフォーマンスを最適化する除外ポリシーを作成できます。

OpenText Recover の導入モデル



シンプルな実装と管理

まず、管理者がコンソールにログインし、システムを自動検出すると、保護対象のシステムにレプリケーションを実行するエージェントがプッシュされます。その後、サービスが設定されます。設定が完了すると、選択したクラウドストレージにデータが継続的に複製されます。これはバイトレベルで行われるため、システムやネットワークへのパフォーマンスへの影響が最小限に抑えられます。

フェールオーバーが簡単で、準備ができたらフェールバック

事前に設定された障害しきい値を超えるようなシステムの停止が発生した場合に、企業は即座にセカンダリ環境にフェールオーバーすることができます。多層アプリケーションのオーケストレーションにより、仮想マシンのプロビジョニングが自動化され、起動順序が指定されるため、リカバリ時間が短縮。総ダウンタイムや RTO は数分で測定され、リカバリポイント (RPO) はわずか数秒であるため、停止による業務への影響は実質的にありません。

プライマリシステムにフェールバックする準備ができたら、プロセスを簡単に元に戻せます。OpenText Recover は、当社の優れた技術チームによってサポートされています。データ保護計画を確実に運用し、停止中のサポートを提供します。

サポート対象プラットフォーム

オペレーティングシステム：

- CentOS
- Microsoft Windows Server
- Red Hat Enterprise Linux
- SUSE Linux Enterprise Server
- Ubuntu

ハイパーバイザ：

- VMware
- Microsoft Hyper-V

OpenText Recover は、サイバーレジリエンス戦略の一環として、ビジネスの継続性と障害復旧を実現します。サイバーレジリエンスとは、サイバー攻撃や偶発的なデータ損失に耐え、迅速にリカバリできることを意味します。OpenText Cybersecurity は、データを安全に保護する幅広いサイバーレジリエンスソリューションを提供するため、お客様は安心してオンラインで業務を遂行できます。

OpenText Recover の詳細情報

OpenText Cybersecurity は、あらゆる規模の企業とパートナー様を対象に、包括的なセキュリティソリューションを提供しています。予防から検知、リカバリ対応、調査、コンプライアンスに至るエンドツーエンドの統合プラットフォームにより、包括的なセキュリティポートフォリオを通じてサイバーレジリエンスの構築をサポートします。コンテキストに基づくリアルタイムの脅威インテリジェンスから得られた実用的なインサイトを活用できるため、OpenText Cybersecurity のお客様は、優れた製品、コンプライアンスが確保されたエクスペリエンス、簡素化されたセキュリティというメリットによって、ビジネスリスクを管理できます。DS_091123